

スマート田んぼダム実証事業「和田地区」

近年多発する豪雨災害から地域を守るため、水田が持つ雨水貯留機能を最大限に発揮する「スマート田んぼダム」の実証事業を農地集積・集約化された新潟市江南区和田地区において両川工区和田分区並びに生産者のご協力をいただき事業に取り組んでおります。

○概要

まとまった面積の水田にスマホ等の端末から遠隔操作が可能な自動給排水栓を用いて、豪雨前の一斉落水、豪雨中の一斉貯留や流出制限を行い、その防災上の効果を検証するもの。

全国8地区^{*1}で実施。

^{*1}秋田県、宮城県、栃木県、新潟市、
富山県、福井県、たつの市（兵庫県）、熊本県

○事業主体 新潟市農林水産部

○事業期間 令和3年度

- ・施設等整備 R3.4.1～7.15
- ・現地調査 R3.7.15～11.30（予定）

○実施面積 計13.7ha

- ・スマート田んぼダム 4.0ha
- ・従来型田んぼダム 4.6ha
- ・対象ほ場^{*2} 5.1ha（田んぼダム装置なし）

^{*2} スマート田んぼダム、従来型田んぼダムの効果や課題を確認するため、対象ほ場の区域を設定し、同様に豪雨時の排水流量や水稻収量などの調査を行う。



給水側



排水側

